



2022年4月8日

各位

会社名 株式会社トール・日レスホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 星野 正則
 (コード番号 3087 東証プライム市場)
 問合わせ先 常務取締役 竹林 基哉
 (TEL:03-5459-9178)

2022年2月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)において、2021年4月14日に公表いたしました2022年2月期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失の計上をすることといたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2022年2月期 通期業績予想の修正

(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	122,180	3,046	3,190	4,374	98.90
今回修正予想 (B)	109,363	△1,783	△1,478	1,221	27.63
増減額 (B-A)	△12,817	△4,829	△4,668	△3,153	—
増減率 (%)	△10.5	—	—	△72.1	—
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期通期)	96,141	△4,319	△4,177	△10,979	△248.38

2. 業績予想修正の理由

当連結会計年度は、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が断続的に発出されました。当社グループ事業においては、この長引く環境下における時間短縮などの営業規制や消費マインド低下の影響を受け、非常に厳しい経営環境が継続しました。

通期業績予想においては、時短営業協力金等の助成金収入を特別利益に計上すると共に、この状況が当面継続するものと判断し、特別損失を計上する事で更なる経営の安定化を図ることと致しました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は黒字化したものの、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益は、業績予想を大きく下回る見込みとなりました。

3. 特別損失の計上について

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経営の安定化を図るため、当連結会計年度において収益性の低下が見込まれる店舗に係る減損損失を保守的に見積り、約31億円を特別損失に計上いたします。

〔予想に関する留意事項〕

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上